



平山 輝貴

質問

地球温暖化対策の推進は

町 実行計画を策定していく

温室効果ガス排出量の把握と具体的な数値目標は。

(町長) 排出量把握と目標設定は欠かせない。調査研究を進め、削除に資する施策を検討していく。

環境基本計画における地球温暖化対策事業とは。

(環境課長) 具体的な取組みや調査研究を進め、地球温暖化防止実行計画において取りまとめ実行をしていきたい。

実行計画はいつまでに策定するのか。

(環境課長) 内部の素案を今年度中にまとめ、令和4年度に検討部会などに回り、早期に策定したい。

問

気温上昇の「2℃目標」を達成するには、2040年までに日本で14・5兆円、世界で75兆ドルの投資が必要とされる。温暖化防止対策に関する基金を創設し、ESG債投資など行う考えは。

答

(環境課長) 基金については、温室効果ガス削減の具体的な施策が出来るからの、検討課題としたい。



※ESG
E「Environment(環境)」「Social(社会)」「Governance(ガバナンス)」「企業統治」の3要素の総称。環境問題、経済、複雑化に伴うSDGsの関心を背景に、注目されている。

建築業界の抱える問題について

町 今後の状況を注視していく

建築業界において、外国産木材の輸入が減少したことによる、木材不足、価格高騰(ウッドショック)が問題となっているが町の認識は。

答

(建設課長) 町入札参加業者への聞き取りでは、経営に対する影響については、具体的な情報は得られなかったが、今後の状況を注視していく必要がある。

問

町有林を伐採し、八溝材を町内業者に適正価格で供給することは出来ないか。

答

(総務課長) 現在の木材流通の仕組みを考えると難しい。

問

木材確保に対する借入支援は。

答

(観光商工課長) 町の中小企業の資金調達の融資制度、信用保証料や利子補給の補助制度の周知を図っていく。

質問

ウッドショック対策は

問

国産材の海外流出が見られる。県産材の県外または国外への流出を抑制する要請を県や国に行う考えは。

答

(農林振興課長) 流通に対し行政が介入する事は難しい。森林組合に対し増産要請するなどの対応が必要だと考えている。

第152回 知事コラム

吹き竹 ～ウッド・ショック!!～

コロナ禍を発端とした世界の木材動向の急変(米・中の景気拡大に伴う両国への木材集中)により、世界規模で木材不足となり、価格が1.5倍から2倍に高騰している。

輸入材の確保が困難なため、代替品として国産材の争奪が発生した結果、県産木材が県外に流出し、約2.5万㎡(一般住宅約1,000棟分)ものどぎ材製品が不足状態となっている。(因みに、これまでの県産材と県産以外の材(輸入材+県外材)の比率は35:65)

県としては、新型コロナウイルス感染拡大に端を発する「ウッド・ショック」に伴うどぎ材製品の入手難を重く受け止め、「どぎ材製品不足に対応する緊急支援」について、本県が誇る良質などぎ材の安定供給を維持するため、関連事業者の連携体制の強化に対する支援など、どぎ材製品の増産に向けた対策を早急に検討することにした。

栃木県知事 福田富一

知事コラム
(質問前日の県民だより)

※ほかに…「町土木技師の人材確保について」の質問もしています。



◀この一般質問の映像はこちらから